

2005年7月15日

 会社名 株式会社 高島屋
 代表者名 代表取締役社長 鈴木 弘治
 コード番号 8233

2005年6月度 高島屋営業報告

【総計】(前年対比、単位：%)

(株)高島屋計	分社4店含む実質
+1.5	+1.6

6月度は百貨店事業、広域事業がともに順調に推移した結果、分社4店含む実質では+1.6%となり3ヵ月ぶりに前年実績を上回った。

分社4店とは、関西地区の岡山高島屋・岐阜高島屋・米子高島屋、関東地区の高崎高島屋です。

【百貨店事業概況】(前年対比、単位：%)

分社4店除く	18店計
+1.1	+1.2

百貨店事業としては本年1月以来5ヵ月ぶりに前年実績を上回り、回復傾向が見られる。6月度は中元の早期承りや「ケルビス」の話題性、「父の日」ギフトに関連した販売促進策等を積極的に展開し、売上増大を図った結果、関西・関東地区ともに前年を上回り、百貨店事業18店計では+1.2%となった。

【店舗別概況】(前年対比、単位：%)

関西地区	大坂店(大坂店単独)	京都店	泉北店	岡山高島屋	岐阜高島屋	米子高島屋
売上高	0.5 (+0.2)	+2.9	+3.0	+8.1	10.6	+0.3
入店客数	5.3	3.0	0.1	+1.9	28.5	10.9

関西地区合計	
分社3店除く	9店計
+1.0	+1.0

大坂店の売上高には和歌山店・堺店の売上高を、京都店の売上高には洛西店の売上高をそれぞれ含みます。

大坂店・京都店の入店客数はそれぞれ単店になります。

関東地区	東京店	横浜店	新宿店	玉川店	立川店	大宮店	柏店	高崎高島屋
売上高	+1.3	+2.3	+1.4	0.3	+0.6	4.1	0.3	+8.8
入店客数	6.5	1.8	3.2	0.6	0.1	7.8	1.6	+0.1

関東地区合計	
分社1店除く	9店計
+1.0	+1.3

横浜店の売上高には港南台店の売上高を含みます。

横浜店の入店客数は単店になります。

店別では18店中で12店が前年実績を上回った。関西地区では、大坂店(単独)が婦人服・雑貨や食料品、食堂等の好調により前年をクリア。京都店は衣料品関連や宝飾品、美術等が順調であった。泉北店は食料品70Aの改装効果が大きく、前年をクリア。なお、岐阜店は今秋予定のリニューアルに伴う工事の影響が続いている。関東地区では、東京店は特選衣料雑貨、宝飾品、美術等の高額品が順調。横浜店も紳士服や特選衣料雑貨、食料品が売上を大きく伸ばした。新宿店では紳士服・雑貨が前年から2桁増の売上を確保。高崎店は4ヵ月連続で前年実績を上回った。

【広域事業概況】(前年対比、単位：%)

	法人事業	通販事業	広域計
売上高	+8.2	+5.1	+6.8

法人事業は企業向け販促品や企業制服の計上が順調。通販事業は婦人服、リビング用品、食料品等が好調で5ヵ月連続で前年実績をクリアした。

【商品別概況(百貨店協会商品区分)](前年対比、単位：%)

	分社4店除く	18店計
紳士服・洋品	+4.8	+4.8
婦人服・洋品	2.2	2.2
子供服・洋品	7.1	6.4
その他衣料品	1.6	2.1
衣料品計	0.7	0.8

	分社4店除く	18店計
身のまわり品	0.0	+0.5
家具	+3.1	+1.8
家電	+4.8	+4.2
その他家庭用品	+2.3	+2.6
家庭用品計	+2.6	+2.5

	分社4店除く	18店計
食料品	+5.5	+5.3
食堂・喫茶	3.2	3.9
雑貨	+1.3	+2.0
サービス	2.8	0.4
その他	2.1	2.3
合計	+1.5	+1.6

当社分類による百貨店事業の商品別概況

紳士服(前年対比+5.2%)はワイシャツやジャケット、スラックス等での「ケルビス」好適品の積極的販売の奏効、「父の日」関連商材も好調で5ヵ月ぶりに前年実績を上回った。婦人服(同 0.2%)はヤング・キャリアゾーンが堅調、麻・麻混素材のジャケットやニット、ホムズが好評であった。婦人雑貨(同 0.6%)は夏物のサンダルや傘等の季節商材に動きがあったが前年実績には僅かに届かなかった。特選衣料雑貨(同+2.9%)は関東地区で2桁近く売上を伸ばし、3ヵ月ぶりに前年を上回った。食料品(同+4.2%)は中元受注も順調であり、再び前年実績を回復した。